

学生の自発的英語学習支援のために
Methods for Assisting Students' Spontaneous Study of English

林 弘 美

Hiromi Hayashi

明治薬科大学・薬学部

〒204-8588 東京都清瀬市野塩 2-522-1

TEL:0424-95-8702 FAX:0424-95-8702

E-Mail:hhayashi@my-pharm.ac.jp

0. はじめに¹⁾

英語学習というと、英会話を中心としたコミュニケーション能力のことが話題になることが多いが、大学生にとっては、専門分野の文献を読む力、自分の意見を英語で書く力も、将来にわたり必要とされるという意味で“実用的な”英語力である。読む力、書く力、そして、聞く力、話す力、をバランスよく身につけていくことが望ましい。

英語力全般を向上させるためには、授業の果たす役割が大きいことは言うまでもない。しかし、授業中の学習だけでは十分ではないことも明らかである。授業に加え、そして、授業の単位を取得した後も、自発的に学習を続けていく必要がある。

明治薬科大学では、自発的英語学習の支援策として、現在次のようなことを行っている。

- (1) a. 語学検定試験で一定以上の成績を修めた場合には単位認定
- b. 大学後援会による語学検定料の補助
- c. CALL 教室の学生用 PC に CD-ROM 教材を用意
- d. インターネットサイトの紹介

¹⁾ 本稿は、2006年2月16日に行われた“第8回マルチメディアを基礎にした教育発表会”での口頭発表に加筆・修正を加えたものである。口頭発表を聴いてくださった皆様に感謝申し上げる。

e. 大学図書館によるレベル別リーディング教材の購入²⁾

f. オフィス・アワーの活用

今回は、特に、(1c)に関して CD-ROM 教材“Medical English”の利用例と、(1d)に関してポッドキャストについて報告する。

1. CD-ROM 教材による学習

明治薬科大学の CALL 教室の各学生用 PC には、TOEIC 対策用 CD-ROM 教材と“Medical English”という CD-ROM 教材がインストールされており、CALL 教室が授業で使われていないときには学生が自由に学習を進められるようになっている。ここでは、まず、“Medical English”について、林 (2005) で報告した内容の一部を紹介し、その後、CD-ROM 教材を利用した学習一般について考察することにする。³⁾

2005 年度の前期に、「薬学総合英語」という授業(2年生対象)の履修者 44 人に対し、

²⁾ 明治薬科大学図書館では、Oxford Bookworms Library を購入している。

³⁾ CD-ROM 教材“Medical English”は、文部科学省科学研究費補助金による特定領域研究「高等教育改革に資するマルチメディアの高度利用に関する研究」(領域代表者 坂元昂)の中の計画研究「外国語 CALL 教材の高度化の研究」(研究代表者 竹蓋幸生)の研究で制作されたものである。

CD-ROM 教材“Medical English”を使用した。この教材は、頭痛をテーマとし、医師と患者の対話 (Unit 1)、医師による講義 (Unit 2)、医師と看護師の対談 (Unit 3、Unit 4) が収録されている。開始レベルは TOEIC 550 点程度、学習時間は 1 日 40 ～ 50 分として 2、3 ヶ月と想定されている。⁴⁾

今回、この CD-ROM 教材を用いて学習した学生に対して行ったアンケート結果 (5 段階評価) の一部を (2) に挙げる。

- (2) a. 内容、トピックには興味を持った
はい 32%—48%—18%—2%—0% いいえ
- b. 難易度は適切であった
はい 36%—34%—18%—7%—5% いいえ
- c. この教材での学習は楽しかった
はい 32%—34%—25%—2%—7% いいえ

いずれの質問項目に対しても肯定的な回答が多い。このことは、同時に行った自由記述式アンケートからも読み取れる。(3) に学生の回答をいくつか紹介する。

- (3) a. 進むにつれてそのたびに目的のようなこと (〇〇に注意して聞く、など) があったため、何度も聞いているうちに、自然に頭に入ったので、すごくためになった気がする。
- b. 1 回目だとなかなか聞き取れなかったが、繰り返し聞くことでだんだん聞き取れるようになった。キーワードを集中して聞くようにしたら、ストーリーもだいたいわかるようになった。

⁴⁾ “Medical English” に関するより詳しい情報については、次の URL を参照。

- (i) a. http://www5e.biglobe.ne.jp/~takefuta/call/g/03_11.html
b. <http://pub.maruzen.co.jp/videosoft/houso/search/1272506.html>

- c. 内容が医療関係のことだったので興味をもって取り組めたと思います。
- d. 医学的な専門用語や表現にふれることができてよかったです。もっと聞き取れるようにできたら知識も広がると思います。

このように、この CD-ROM 教材は、明治薬科大学の学生にとって、内容、難易度ともに適したものであると思われる。(より詳しくは、林 (2005) を参照。)

CD-ROM 教材を利用した学習一般に関しては、(4) のような利点がある。

(4) CD-ROM 教材を利用した学習の利点

- a. 自分のペースで学習できる。
- b. 学習を進めやすいようにさまざまな工夫がなされている。

学習者の側からは、自分のリスニング力に応じてわかりにくい箇所を繰り返し聞き直すことができ、また、興味ある Unit を選んで学習できる、といったことは、大きな利点である。また、教材自体にもヒントがタイミングよく提示される等の工夫があり、各学習者がその CD-ROM 教材に集中して取り組みやすいように工夫されているものが多い。ただし、CD-ROM 教材にさまざまな機能が備わっている場合ほど操作法が複雑になることがあり、まずは授業時に一定の時間をとって操作法を指導する、という機会を設けたほうがスムーズに学習を進められると思われる。

一方、CD-ROM 教材を利用する学習には、次のような欠点がある。

(5) CD-ROM 教材を利用した学習の欠点

学習場所が教室 (PC の前) に限定される。

当然のことではあるが、CD-ROM である以上、それを利用するためにはPCを使用することになり、学習場所はPCを備えた教室、または、PCの前、ということになる。前述の“Medical English”の場合には、大学のCALL教室のPCにインストールされているため、利用はCALL教室に限られることになる。

2. ポッドキャスト

2.1 ポッドキャストとは

ポッドキャストとは、インターネット上の音声ファイルをPCやMP3プレイヤー(iPod等)で聞くことである。言葉としては、iPodの“Pod”と放送(broadcasting)の“casting”を組み合わせた造語であるが、iPod以外のMP3プレイヤーで聞くことも可能であるし、上述のようにPCで聞くことも可能である。

2.2 ポッドキャストの手順

ポッドキャストを利用する場合、次のような作業を行うことになる。

<準備段階>

- 1) 番組を登録・再生するためのソフト(iTunes等)をダウンロードする。
- 2) 購読する番組を登録する。⁵⁾

<毎回の作業>

- 3) インターネットに接続し、iTunes等を起動する。(登録番組に関し、前回起動した時点以降に配信されたものが自動的にダウンロードされる。)
- 3') MP3プレイヤー(iPod等)を利用する場合

5) “購読”という用語が使用されているが、ポッドキャストの場合たいの番組は無料である。

は、適切なケーブルによりMP3プレイヤーをPCに接続する。(iPodの場合は、PCに接続すると、自動的にiTunesに保存されている番組がiPodに転送される。)

<適宜>

- 4) 購読番組を見直す。(購読を中止する、あるいは、新規に登録し購読を開始する。)

2)の段階においては、iTunes等で紹介されている人気番組を見て登録することもできるし、各番組のサイトにアクセスし、“RSS Podcasting”等のロゴマークをiTunes等にドラッグ・アンド・ドロップすることにより登録することもできる。3)の段階以降、ダウンロードされた番組を聞く際には、インターネットに接続している必要はない。また、iPod以外のMP3プレイヤーを利用する場合には、そのプレイヤーに対応したソフトを利用することになる。より詳しくは、ソフィア(2005)等を参照されたい。

2.3 ポッドキャスト番組例

ポッドキャストを利用した英語番組は、急増している。例えば、次のようなものがある(2006年2月16日現在)。

- (6) a. TOEFL 対策:

<http://www.toeflpod.com/index.html>

TOEFL Podcast (毎週火曜更新)

- b. オーディオドラマ:

<http://www.englishthroughstories.com/index.html> English Through Stories (毎週

月曜更新)

- c. 長めの会話等:

<http://www.eslpod.com/scripts.html> ESL Podcast (毎日更新)

d. 短い会話表現等:

<http://podcast.alc.co.jp/> アルクの

podcasting station (「岩村圭南のセンテンス・オブ・ザ・デイ」(毎日更新)、「岩村圭南の英語はトレーニングだ!」(毎週金曜更新)、「石原真弓の英会話質問箱」(毎週月曜更新))

<http://podcast.interfm.co.jp/catherine/>

Better English with Catherine (毎日更新)

e. 単語力増強:

<http://www.sofia-inc.tv/pairenglish/> ペ

アで覚える英単語 (毎週火曜・金曜更新)

f. 最新ニュース:

<http://us.cnn.com/services/podcasting/>

CNN News Update (毎日更新)

<http://www.voanews.com/english/>

podcasts.cfm VOA Podcasting (Special English は毎日更新)

<http://mainichi-podcasting.cocolog-nifty.com/weekly/> 毎日ポッドキャスト

ポッドキャスト (毎週金曜更新)

g. 科学ニュース:

<http://science.nasa.gov/podcast.htm>

SCIENCE@NASA (随時更新)

このようにさまざまな番組があるため、自分の興味やリスニング力に応じて選び、活用していくことができる。

2.4 ポッドキャストを利用した学習の利点と欠点

ポッドキャストを利用した英語学習には、次のような利点がある。

(7) ポッドキャストを利用した学習の利点

- 自分のペースで学習できる。
- 自分の好きな番組を組み合わせられる。
<カスタマイズ可能>
- 随時更新されるため、学習習慣が形成されやすい。<習慣づけ>
- MP3 プレイヤーに転送すれば学習場所が限定されない。<いつでもどこでも>

特に(7d)の点は、CD-ROM 教材を利用する場合と決定的に異なるといえる((5)参照)。

一方、ポッドキャストの欠点としては、次のようなことがある。

(8) ポッドキャストを利用した学習の欠点

- iTunes 等のダウンロード等、多少準備が必要である。
- MP3 プレイヤーを利用する場合、ソフト等の使用法が機種に依存する。

大学の PC に iTunes 等をダウンロードすることは認められない場合があり、また、MP3 プレイヤーにより使用法が異なることを考えると、授業中に一斉に利用法を指導することは困難であると思われる。⁶⁾ この点では、共通の CD-ROM 教材を予め各学生用 PC にインストールしておくほうが、授業で活用しやすいといえる。

3. 自発的学習の支援の強化

CD-ROM 教材やポッドキャストに限らず、

⁶⁾ 明治薬科大学では、CALL 教室の学生用 PC に iTunes 等のソフトをダウンロードすることは禁じられている。ただし、2006 年 4 月入学の新入生に購入を勧めるノート型 PC には、iTunes が予めダウンロードされているため、各学生が自分のノート型 PC で iTunes を利用しポッドキャストを行うことが可能である。

より積極的に学生の自発的学習を促すためには、大学の単位や授業と関連付けると効果が大きいと思われる。明治薬科大学では、(1a, b)に示したように、語学検定試験の検定料補助と(一定の成績を修めた場合には)単位認定の仕組みがあり、十分な単位を取得した場合も含めて検定試験に向けて勉強する学生が少なくない。CD-ROM 教材については、前述のように授業においてその使用法を指導する機会を設け、また、CD-ROM 教材の利用状況を報告する“進捗表”を配布している(林 (2005)参照)。今後、CD-ROM 教材の利用以外の自発的な学習を行った場合にも教員に報告しやすい仕組みを作り、場合によっては成績評価の参考にする、といったことを検討したい。

4. おわりに

英語学習に限らず、学生が自発的に学習することは当然のことである。しかし、英語に関しては、学習の手段・方法や情報が多いためか、やる気があってもどのようにすべきか迷ってしまい相談に訪れる学生も多く、支援体制を整えた方がよい

面もあると思われる。

CD-ROM 教材の場合は、学生にとって高価である可能性が高く、また、利用したことのない学生も多いため、このような学習方法があることを大学側が示し、利用できる環境を整えること自体にも意義がある。ポッドキャストの場合は、授業等での一斉指導には馴染まないが、学生自身が主体的に活用していけば利用価値が高く、今後も有益な番組の増加が見込まれる。

これからもより適切な学習方法を模索し、学生に対する支援や情報提供を行っていきたいと考える。

引用文献

- 株式会社ソフィア (2005) 『ポッドキャスト de 英会話!』 英治出版.
- 林 弘美 (2005) 「大学英語カリキュラムと学生の自発的学習の支援—ESP における CD-ROM 教材を活用した取り組み—」 『明治薬科大学研究紀要 [人文科学・社会科学]』